***** C 0	利日 講美 活圧 学習教育
学科 C3. 学年 S3	
子十 3 3	2.10 2.4位 (11) 0011111111111111111111111111111111
二年連続講義の後半。前年度の学習成果を継承し、発展させながら、今年度は主と	
Lour	して西欧の歴史を主軸に講義するが、中国、インド、イスラム、特に日本の歴史に
概要	関しても可能な限り関連を求めて行きたい。前期は宗教改革、ルネサンスまで、後
	期は市民革命、産業革命を経て、帝国主義と二つの大戦に言及するが、時間の制約
	もあり、大局的に捉え、国際人としてふさわしい教養を身につけさせる。 
科目目標	ヨーロッパ市民社会の形成発展を主軸に学習する一方、西欧以外の文化圏諸国の動
(到達目標)	向にも常に視野を向けさせ、大局的に理解させることを主目的とする。
教科書	京松州関東(D)中川田原 英芸州関東の部 派自事中 中料プリントなど
器材等	高校世界史〔B〕山川出版、新詳世界史図説 浜島書店 史料プリントなど
評価の基準と	定期試験 70%, 授業への参加 30% として評価し、60点以上を合格とする。
方法	
関連科目	地理・古典(漢文)・英語
£.+-	授業計画
第 1回	
第 2回	
第 3回 第 4回	
第 5回	
第 6回	
第 7回	
第 8回	
第 9回	
第10回	ヨーロッパ人の対外進出
第11回	宗教改革
第12回	絶対主義時代史
第13回	
第14回	
第15回	
第16回	
第17回	
第18回 第19回	
第20回	
第20回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	自由主義・民主主義の発展
第27回	帝国主義への道
第28回	
第29回	
第30回	定期試験
オフィス	金曜日午後を主に必要に応じて随時、質問に対応する。
アワー	
授業アンケー   トへの対応	①似音事供の登生 必貝回クイムの指弦 じレホート短収扱いの再名
備考	
1佣 与	